

# 日本油化学会 フレッシュマンセミナー-OSAKA (2014)

主 題 : 界面科学と界面活性剤

主 催 公益社団法人 日本油化学会 関西支部

日 時 平成26年5月29日(木) ~ 30日(金)

会 場 大阪市立工業研究所 〒536-8553 大阪市城東区森之宮1-6-50

[交通] JR環状線または地下鉄森ノ宮駅より東へ350m、赤十字血液センター交差点を北へ、森ノ宮小学校北隣り

参加費

(単位:円)

円) 会 員 種 別	参 加 費 (単位:			
	1名	2名	3名	1名増える毎
本 会 正 会 員	22,000	—	—	—
本 会 法 人 会 員 (各1社につき)	22,000	34,000	46,000	左記+12,000
会 員 外	40,000	—	—	—

申 込 先 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1 京都工芸繊維大学物質工学科 川瀬研究室内  
公益社団法人日本油化学会関西支部事務局 [Tel & Fax 075-724-7529 FAX 075-724-7580]

申 込 方 法 下記の申込書に必要事項を明記の上、郵便またはFAXでお申し込み、参加費は銀行振込で前納下さい。なお、納入された参加費は返金いたしかねますので、予めご了承下さい。

銀行振込先: 京都銀行下鴨支店・普通預金口座 3246576 (社) 日本油化学会関西支部事務局

定 員 70名

演 題 と 講 師

## 第1日 29日(木)

1. 界面科学と界面活性剤のあゆみ 10:00~11:00  
日本合成洗剤(株) 武田 徳司 氏  
今日広く知られる各種界面活性剤は、18世紀以来の産業と科学技術の発展と連動してどのように発達してきたのか、次いで現代の産業分野に応用されている界面活性剤と原料資源との関連などについて概説する。
2. 界面活性剤の概要(分類・製造法・特性と用途) 11:10~12:10  
花王(株) 森井 紀行 氏  
界面活性剤は、疎水部、親水部、連結部などから構成され、各部の結合にエーテル化、エステル化、アミド化、開環やリン酸化などの反応が利用されている。その分類・製造法について述べると共に特性と用途についても解説する。
3. 微粒子分散系の科学: ベシクル・リポソーム 13:00~14:00  
姫路獨協大学 岡村 恵美子 氏  
リン脂質の関与するコロイド分散系微粒子(ベシクル・リポソーム・リビッドマイクロソフェア)の新規調製法、物理化学的ならびに生理的特性などを界面科学的な見地から解説していく。
4. エマルションの科学 14:10~15:10  
東洋ビューティ(株) 植田 光一 氏  
求める乳化型を得るため、より安定な乳化を得るための情報を相図より引き出す知識を説明する。さらに、熱力学的平衡系であるマイクロエマルションについても、通常の乳化系との相違点やキャラクタリゼーションについて概説する。

## 5. ぬれと洗浄の科学

15:20～16:20

京都工芸繊維大学大学院

川瀬 徳三 氏

ぬれとはどのような現象か？ぬれの尺度は、そしてぬれをどのように計るか？種々の物質のぬれについて、また、ぬれ易くしたり、ぬれ難くしたりする方法や様々な洗浄技術と洗浄の評価および汚れ剥離のメカニズムなどについて解説する。

## 第2日 30日(金)

## 6. 可溶化の科学

10:00～11:00

大阪市立工業研究所

懸橋 理枝 氏

可溶化は、溶媒に溶けない不溶性物質を溶媒中に安定に存在させる有効な手段である。本講では、可溶化の機構と可溶化量を制御する方法の基礎について解説する。

## 7. 泡の科学

11:10～12:10

日油(株)

嶋田 昌彦 氏

“シャボン玉は美しい。そして、それが空中に浮かんで揺れ動く姿は誠に面白い。”このような泡を意のままに操り、そして制御するには、我々はどうすればよいのだろうか？

## 8. 分散系の科学

13:00～14:00

奈良女子大学

後藤 景子 氏

コロイド分散系の定義、分類、生成法、特性について解説する。物体間相互作用の立場から分散系安定性の支配要因を挙げ、安定性制御のための基本的指針を示す。

## 9. 界面活性剤と環境

14:10～15:10

第一工業製薬(株)

城藪 将虎 氏

ノニルフェノールが魚の内分泌を攪乱することが環境省で確認され、その挙動が注目を浴びている。本公演では、非イオン界面活性剤(NPE)とその代謝物の水環境中での挙動について述べる。

## 10. 界面活性剤の構造と機能

15:20～16:20

大阪工業大学

村岡 雅弘 氏

界面活性剤は、起泡、乳化、洗浄、分散・凝集などの現象制御になぜ必要なのであろうか。様々な表面や界面における界面活性剤の作用や機能を理解するために、界面活性剤の分子構造とその溶液の性質、さらに界面活性剤の種類と用途などについて実用的観点から具体的な例を挙げて理解し易く簡潔に講義する。

-----きりとり線-----

日本油化学会 フレッシュマンセミナー OSAKA(2014)参加申込書(1人1枚)					
氏名(ふりがな)		会員番号(個人)		事務局記入欄	
				受付番号:	
所属・部署					
連絡先	〒		電話		
			FAX		
			E-mail		
資格	(該当に○印) 正会員	法人会員会社勤務者(参加者	名)	会員外	
会費額	円	連絡事項			
送金方法	(該当に○印) 個人振込	法人会員一括振込		送金予定	月 日

- ・お申し込みいただいたお名前等の個人情報は受講確認以外の目的には使用いたしません。
- ・参加証は5月中旬にお送りします。申込受付の返信はメールで致します。出来る限りE-mailをお書き下さい。